

手彫り切手とその模造品

井戸垣 俊弘

日本最初の切手である手彫り切手は「エッチング方式（銅板腐食式）」の凹版切手である。この切手は制作行程が1枚1枚手作業となるため、いわばシートのすべてが定常変種といってよく、郵趣家にとっては極めて興味深い収集対象である。ただその希少性ゆえに高価なものが多く、模造品も多く制作されていて、**模造品自体が一つの収集のジャンルを構成している**ほどである。

私も廉価で入手しやすい模造切手の収集をしているが、「**真正品を知らない**と**模造品の正確な判別が出来ない**」ことから、最低限の真正品の収集も行い、これらをもとに手持ちの模造品（約3000点）の整理分類を試みている。今回は、その途中経過を紹介する。

手彫り切手の分類

- ・「JPSカタログ」の分類では手彫り切手は和紙と洋紙で合わせて**全51種**、「組合版カタログ」では松田印刷と政府印刷を区別せず仮名文字の位置の違いも区別しないので**全45種**となる。真正品と模造品を比較・議論するためにはこのJPS版と組合版の違いを整理しておく必要があるため、両者の分類を対照してリストにまとめた。
（【リスト・Ⅰ（和紙）】と【リスト・Ⅱ（洋紙）】）。

真正品の収集

- ・模造品との比較がしやすいように、原則、未使用・糊落ち無しの条件で収集したが、現時点で入手できたのは47種である（残念ながら、うち2種は使用済み）。入手した真正品をまとめた全4リーフのうちの最初の1リーフを【図1】に示した。
- ・他にも、「すみ点入り」「みほん字入り」切手の真正品を10種と、仮名の種類が最も多い「洋桜2銭仮名入り」切手の全23種（消印はすべて記番壱番印）を入手して、模造品の「みほん字」や「仮名文字」のチェックの参考にしている。

模造切手の代表的な版元

国外の版元

- ・ラムスデン版：
キューバのラムスデン（RAMSDEN）による模造品。
9×12=108面シートを石版で印刷している。

- スピロ版：

ドイツのスピロ（SPIRO）兄弟が1875年から制作した模造品。

5×5＝25面シートの石版印刷で、実在しない消印を押している。【図2】を参照。

国内の版元

- 上方屋版：

東京の上方屋書店の石版印刷による模造品。偽造を示す文字が消印で隠されていることが多い。

- 広瀬版：

神戸在住の広瀬某による模造品。制作数は少なく精巧なものが多い。

- 和田版：

東京の和田小太郎が山中芳三郎という印刷屋の協力を得て、真正品と同じエッチング凹版で制作した模造品。異なる切手を混合した3×2＝6面シートが基本。沿革誌の模造の他、「龍切手8種」と「桜切手22種」を貼った「大日本廃止郵便切手模造」シート（1890）【図3】、「小判切手」を含む64枚貼りシート（1898）、「東宮婚儀」他も含む94枚貼りシート（1911）などがある。和田版の制作枚数は数百万枚に及び、流布している**模造品の90%を占める**と言われる。

- 組合版：

1945年頃のオフセット印刷による模造品で、通称「オモチャ」。組合カタログに準拠した全45種が制作されている。初期印刷（灰白紙）と後期印刷（白紙）があり、両者は切手の裏の番号の付け方と色の濃淡の違いで簡単に区別できる。

- 半官製版：

郵便創始90年を記念して、郵政省と郵便切手普及協会が制作した模造品（1961～63）で、切手数種を含む小型シート全10シート（切手は42種）からなり、シートの裏に「普及協会」の銘があるものと無いものの2種類がある。切手によって和紙と洋紙を使い分けた凹版印刷による精巧な仕上がりで、各切手の裏に「模刻」の文字が入っている。

当日の会場では、これら各版元の模造切手を【図3】【図4】以外にも数リーフずつ紹介する予定である。

模造切手の判別

模造切手は真正品の色合いや紙質を正確に再現出来ているとは限らないため、その切手がどの真正品をターゲットにしているのかを判断しにくいことが多い。そこで今回は、まず手彫り切手全体を、次の方針：

- 組合版と同様に、「和桜仮名なし切手」は切手松田印刷と政府印刷を区別しない
 - JPS版と同様に、「改桜仮名入り6銭切手」は仮名位置の違いを区別する
- に従って模造品でも区別可能な**46種のターゲットに分類**し直した。

次に、各ターゲットに分類された切手の真贋の判定を以下の手順で行った。

- ① 「模造」「参考」「見本」「みほん」等、真正品ではないことを意味する文字が入っていないか。
- ② 使用済みの場合、消印のチェック：
スピロ版を始めとして、実在しないニセ消印が押されているものがある。よく使われている代表的なニセ消印を【図4】に示した。
- ③ 仮名の整合性の確認：
「仮名なしの切手」に仮名があるもの、逆に「仮名入り切手」に仮名の落ちているもの、あるいは真正品には無いはずの仮名を用いているもの等のチェック。
- ④ 字体・図の細部のチェック：
真正品と模造品では字体や図柄の細部に微妙な相違点がある。これまでに知られているそれらの情報を参考にして相違点や秘符等をチェックする。

以上の①～④をクリアしている場合は「**保留品**」とした。保留品が真正品である可能性は殆ど無いとはいえ、精巧で出来のいいものはいわゆる「**Skillful Forgeries**」として珍重する国内外の愛好家が多い。

今回は46分類の全ての切手を、原則として1分類1リーフで整理した。その46リーフのうちの一部を【図5】～【図7】に示した。比較のために、各リーフの右上端に「半官製版」と「組合版」の模造切手を入れている。「保留品」は、和紙切手の場合は透明のマウント、洋紙切手の場合は黒のマウントに収納して区別し、特に**精巧な作品については黄色の付箋**を付けた。また、**真正品の可能性の高いものには赤の付箋**を付けている。

⑤ 真贋の最終判断

- ・ターゲットに分類する際には、「薄い洋紙？の切手」でも「和紙」をターゲットにしていると考えて「和紙の模造切手」に分類している。しかし、当然ながら「和紙切手」は本当の和紙でなければ真正品ではない。
- ・手彫り切手は全て「凹版印刷」なので、それ以外の印刷方式なら真正品ではない。
- ・したがって、**最終的には印刷方法と紙質の正確な確認が必要**である。
- ・今回はこの最終判定までには至っていないが、模造切手として入手したロットから**真正品が出てくる確率もゼロではない**ようである（今回の場合で 0.1%程度？）。

最近郵趣サービス社から「ビジュアル日専：手彫り切手編」が出版され（未入手）、これにより図の細部に関する情報が飛躍的に増える可能性がある。スペースと時間の都合で対応出来なかった切手がまだ相当数残っているので、それら残りの切手も含めて、今後はより高い精度で分類・整理を進めることが出来るのではないかと期待している。

手彫切手のリスト・I (和紙)

以下、網掛けは展示品 (横線で消しているのは使用済み)、赤字は未入手品、枠字は通称、

はJPSカタログの番号、行末の下線付きの青数字は組合カタログの番号を示している。

■龍文切手 (1871.4.20) : 和紙1種 / ミツマタ		龍文	
# 1.	48文 (赤茶) 龍版数2 (1,2) 額面版数1 → 「稿紙」「無地紙」		1
# 2.	100文 (青) " 2 (1,2) " 1 → "		2
# 3.	200文 (朱) " 2 (1,2) " 1 → "		3
# 4.	500文 (青緑) " 2 (1,2) " 1 → "		4
■龍銭切手 (1872.4.?) : 和紙3種 / 竹紙, 大麻紙, ミツマタ		龍銭	
# 5.	半銭 (赤茶) 龍版数2 (#1の版2, 新版) 額面版数1 → 「稿紙」「無地紙」		5
# 6.	壹銭 (青) " 3 (#2の版1,2, 新版) " 1 → "		6
# 7.	弍銭 (朱) " 1 (新版) " 1 → "		7
# 8.	五銭 (青緑) " 1 (#4の版2) " 1 → "		8
■和桜・仮名なし (1872~) :			
(松田印刷)			
# 9.	半銭・松田印刷 (こい茶) 版数4 Nのタイプ I (1,2), III (3,4)	キ半銭	9
# 10.	1銭・" (藍) 版数4 Nのタイプ I (1,2), III (3,4)	青一	10
# 11.	2銭・" (朱) " 2 (1, 2)		11
# 12.	10銭・" (青味緑) " 1		14
# 13.	20銭・" (紫) " 1		15
# 14.	30銭・" (黒) " 1		16
(政府印刷)			
# 15.	半銭・政府印刷 (灰黒) 版数1 Nのタイプ III (#9の版4)	キ半銭	(9)
# 16.	1銭・" (淡青) " 26 Nのタイプ I (1, 2), II (9, 10), III (3~8, 11~26)	青一	(10)
# 17.	2銭・" (赤) " 2 (1, 2)		(11)
# 18.	"・" (黄) " 15 Nタイプ II (版9~11), III (版1~8, 12~15)		12
# 19.	4銭・" (くすみ桃赤) " 15 枠のタイプ I (1~10, 15), II (11~14)		13
# 20.	10銭・" (うす黄緑) " 1 (#12の版)		(14)
# 21.	20銭・" (赤味紫) " 1 (#13の版)		(15)
■和桜・仮名入り (1874~)			
# 22.	2銭 (黄) 版数各2 (1,2) イ, タ		17
# 23.	6銭 (黒味茶紫) 版数各1 イ, ロ, ハ, ニ, ホ, ヘ, ト, チ, リ, ス, ル, ヲ	墨六	18
# 24.	20銭 (暗い紫) " 各1 イ, ロ, ハ	大櫻	19
# 25.	30銭 (黒) " 1 イ		20

手彫切手のリスト・II (洋紙)

■洋桜・仮名なし (1874.2~)

2 6. 4 銭 (こい紅) 版数 2 (1, 2) 枠のタイプ I (8), II(14) [2 1](#)

2 7. 3 0 銭 (灰味黒) 版数 1 (# 1 4 の版) [2 2](#)

■洋桜・仮名入り (1874.2~)

2 8. 半 銭 (茶) 版数各 2 (1, 2) イ, ロ [2 3](#)

2 9. 1 銭 (こい灰味青) " 各 2 (1, 2) イ, ロ, ハ, ニ, ホ, ヘ, ト, チ, リ, ス, ル, ヲ 藍桜 [2 4](#)

3 0. 2 銭 (だいだい黄) " 各 2 or 3 [2 5](#)

⑥ ロ, ハ, ニ, ホ, ヘ, ト, チ, リ, ス, ル, ヲ, リ 民間印刷

カ, ヨ, タ, レ, ソ, ツ, 子, ナ, ラ, ム 政府印刷

3 1. ~~4 銭 (こい紅)~~ 版数 2 (1, 2) イ [2 6](#)

3 2. 6 銭 (黒味紫茶) " 各 2 (1, 2) ス, ル, ヲ, リ, カ, ヨ, タ, レ, ソ [2 7](#)

3 3. 1 0 銭 (緑) " 各 1 イ, ロ, ハ [2 8](#)

3 4. 2 0 銭 (暗い紫) " 各 1 ニ, ホ [2 9](#)

3 5. 3 0 銭 (灰味黒) " 1 イ [3 0](#)

■鳥切手 (1875. (明治8) 1.1) : 洋紙

鳥

3 6. 1 2 銭 (薄桃) 版 1, 2 イ, ロ, ハ [3 1](#)

3 7. 1 5 銭 (薄紫) " 1, 2 イ, ロ, ハ (落ち十, 書き十) [3 2](#)

3 8. 4 5 銭 (暗い紅) " 1, 2 イ, ロ, ハ [3 3](#)

■改桜・仮名なし (1875.2)

ブッチ

3 9. ~~1 銭 (うすい茶)~~ 版数 1 (# 1 6 の版 26) [4 1](#)

4 0. 4 銭 (緑) 版数 4 (# 1 9 の枠タイプ I (版 7, 8), II (版 13, 14)) [4 2](#)

■改桜・仮名入り (1875.2.4)

4 1. 半 銭 (灰黒) 版数各 2 or 3 ロ, ハ, ニ [3 4](#)

4 2. 1 銭 (茶) " 各 2 or 3 ホ, ト, チ, ヲ, リ, カ, ヨ, タ, レ [3 5](#)

4 3. 4 銭 (青緑) " 各 2 or 3 イ, ロ, ハ [3 6](#)

4 4. 6 銭 (だいだい) 版数 各 1 or 2

仮名位置タイプ I ス, ル, ヲ, リ, カ, ヨ, タ, レ 玉六 (ヨ) [3 7](#)

4 5. " (薄いだいだい) 版数各 1 or 2

仮名位置タイプ II ツ, 子, ナ, ラ 玉六 [\(3 7\)](#)

4 6. 1 0 銭 (群青) 版数各 2 or 3 ニ, ホ 小雨龍 [3 8](#)

4 7. 2 0 銭 (赤茶) " 4 チ, リ (未確認) 小桜 [3 9](#)

4 8. 3 0 銭 (紫) " 各 1 or 2 ロ, ハ, ニ [4 0](#)

■桜・図案改正 (1875~76)

4 9. 1 銭 (茶) 版数 2 (1, 2) 房 1 銭 [4 3](#)

5 0. 2 銭 (黄) " 約 2 0 ? 房 2 銭 [4 4](#)

5 1. 5 銭 (緑) " 1 ネギ 5 銭 (短冊) [4 5](#)

手彫り切手 (I-1)

龍文切手 (1871.4.20)



#1 48 文



#2 100 文



#3 200 文



#4 500 文

龍銭切手 (1872.4?)



#5 半銭



#6 1 銭



#7 2 銭



#8 5 銭

和桜仮名なし (1872 -) 松田印刷



#9 半銭 (N-I)



#10 1 銭 (N-I)



#11 2 銭



#12 10 銭



#13 20 銭



#14 30 銭

【図1】 龍文切手・龍銭切手・和桜仮名なし切手 (松田印刷) の真正品



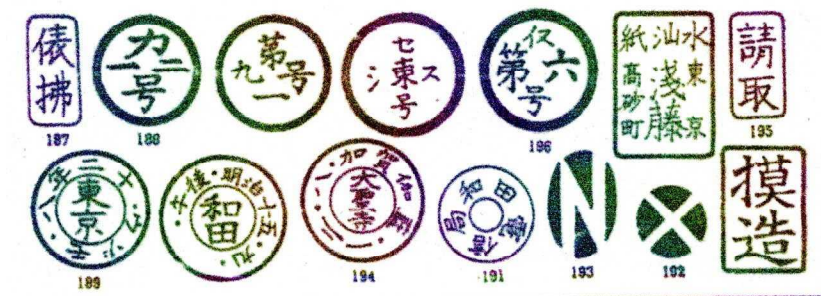
【図2】スピロ版の模造切手シート4種

表紙について

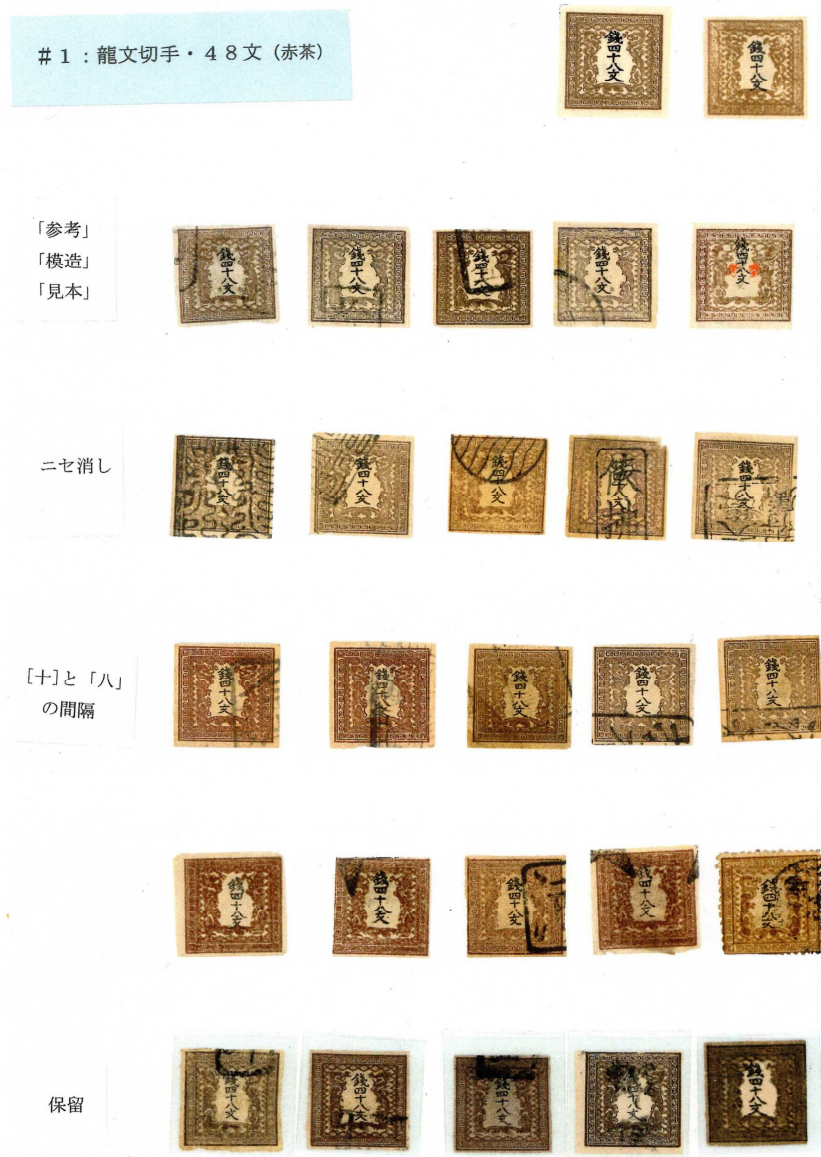
今月は4月なのでシンプルに桜のエンタイアです。10円桜切手の多数貼りはよく見かけるが、16枚貼りは多くはないと思う。アメリカ宛の航空便は10g毎に80円なので、2倍重量料金である。たまには、こう云うの物もいいでしょう。
(矢)



【図3】「大日本廢止郵便切手模造」(和田版)

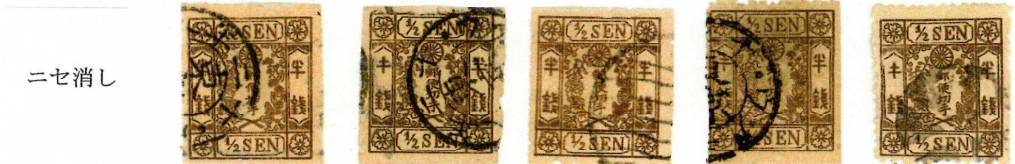
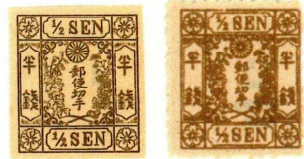


【図4】代表的なニセ消印



【図5】龍48文切手（#1）の判別

9 : 和桜仮名なし・半銭／松田印刷 (こい茶) N (I・III)
 # 15 : " " ・半銭／政府印刷 (灰黒) N (III)



【図6】和桜半銭仮名なし切手 (#9・15) の判別

#38 : 鳥切手・45銭 (暗い紅)
(イ・ロ・ハ)



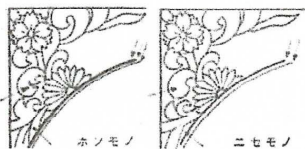
「参考」
「模造」
「みほん」



ニセ消し



「郵」
縦棒欠け



印刷版式



【図7】鳥45銭切手（#38）の判別